

今月の学習会報告 ～ 食養室編～

開催の経緯

これまで管理栄養士は病態の理解を中心に動画等で学んできましたが、若手職員から「より実践的な内容を学びたい」という声があり、それを受けて内容を再検討しました。

学び

2カ月に1回、担当者が持ち回りで症例検討や、担当病棟での学びを発表しています。実践に近い内容をテーマとし、日頃の疑問点や悩み、頑張り共有する良い機会となっています。第1回は「小児の肥満・やせに対する栄養相談」第2回は「心不全の栄養管理」をテーマに実施しました。今後は「非代償性肝硬変の栄養管理」「糖尿病のカーボカウント」「褥瘡の栄養管理」「リハビリ病棟の気になる症例」なども予定しています。

抱負

主体的に学ぶ姿勢を大切に、職場で活かせる力を共に育て、日々の実践に役立つ知識と視点を深めていきたいです。

まなmemo

変化の時代を生き抜くために学び続けることの重要性

先日参加した学習会で、学習する意味の話を書きました。当たり前かもしれないけど、大事だと思ったので、私なりにお伝えします。長いので、時間がある時に読んでみてください。医療現場は常に進化し、ITや生成AIなど、私たちの想像を超える技術が次々と登場しています。かつて新しいものと脚光を浴びたものがどんどん消えていくように、医療の世界も絶えず変化しています。なぜ、私たちは学び続ける必要があるのでしょうか？それはシンプルに、“周りが進歩しているから”です。現状維持では、患者さんへ最善の医療を提供することはできません。常に知識やスキルを最新に保つ努力が不可欠です。

新人さんは基礎を学び、経験から吸収することが重要です。一方、中堅・ベテランの皆さんは、培った経験に加え、最新の医療動向をアップデートする必要があります。新しい治療法やAI活用法を学ぶことは、より質の高い医療提供に直結します。

学びは決して楽なことばかりではありませんが、その先には患者さんの笑顔と、自身の確かな成長が待っています。変化を恐れず、常に新しい知識を取り入れスキルアップすることで、私たちは患者さんから信頼される医療従事者へと成長できます。

私たち一人ひとりの学びが、病院全体の医療の質を高め、地域社会に貢献することに繋がるのです。共に学び、進化し続ける医療現場で輝き続けましょう。

